



# 別寒辺牛

2015年3月発行  
NO.30

## 今年度を振り返って

### ・オジロワシの繁殖について

観察館向かいの山でもう十年以上繁殖を続けるオジロワシのつがいがいます。ワシのパートナーは死に別れなどで度々代わりましたが、昨シーズンはオスが入れ代わった様子。まだ繁殖経験の無い若いオスだったのか、メスが卵を産むことなく、早々に繁殖に失敗しました。

厚岸町全体ではオジロワシの営巣数は年々増加しており、既に10家族以上にもなっているため、幼鳥は多く見られます。

### ・タンチョウの子育て(観察館正面)

観察館前の湿原で毎年繁殖するタンチョウつがいがいます。今年生まれたヒナ(幼鳥)は飛ぶ練習をするなどうまく育てていました。しかし、11月からは幼鳥が観察館から確認できず心配になっています。

### ・残念なタンチョウの事故(尾幌川河口)

もう5年以上になるのですが、オスの脚に標識リングのついたつがいが尾幌川河口に定着していました。とても繁殖の上手なつがいで、双子を2回年越しさせるなど、安定した子育てを行っていました。しかし昨シーズンは、卵あるいはヒナがほかの動物に補食されたのか、ヒナが歩き出す時期になってもヒナを確認できませんでした。

さらに残念なことに、つがいのなわばりギリギリのところ、線路上上がったタンチョウが列車と衝突し、オスが死んでしまいました。来年はタンチョウのつがいの勢力図が変化しそうです。以前多かったタンチョウのヒナ・幼鳥の死亡事故は激減していますが、タンチョウの列車事故は続いており対策に苦慮しています。

厚岸町内のタンチョウ全体としては、40家族以上が繁殖しており、本来は営巣適地でない小さな湿地で繁殖している家族が急増し、事故の原因となっています。

### ・オオハクチョウの渡りは

多いときには7千~8千羽の中継数を誇った厚岸湖も、今は多くても3千羽代の中継数になっています。越冬する数も、以前は2千~3千羽が越冬していましたが、現在はおよそ1千羽強の越冬数となっています。

減った原因は色々と考えられますが、状況が整理できれば、たよりでお伝えしたいと思います。

### ・オオワシ・オジロワシの鉛弾事故

これらのワシを、合わせて“海ワシ”と呼びます。エゾシカ猟の鉛弾の使用及び所持が北海道条例で禁止されているにもかかわらず、撃たれたシカの残滓を食べた海ワシの鉛中毒による衰弱・死亡個体が、今年も道内で見ついています。願わくば、厚岸町で出ないことを祈るばかりです。

また、最近増えてきているのが列車との衝突死。これは、エゾシカの事故死体が線路脇にあるときに、それを食べにやってきた海ワシが衝突死するというケース。

以前はそれほど多くはなかったのですが、近年目に付いてきた事故の一つです。

### \*ヒシの実を確認しました！

別寒辺牛(べかんべうし)川の名の由来は、アイヌ語のペカンペ(水草のヒシの実)ウシ(多いところ)という説が有力?なのですが、実際にヒシを水面で見たこともありませんでした。しかし今年の夏、別寒辺牛川支流でカヌーをしているときに偶然にヒシを1株見つけてしまいました！

これは今まで存在していたのを見つけられずにいたというよりも、おそらく渡り鳥が体にくっつけて落とした可能性が高い気がします。いずれにせよ、しばらくは様子見ですね。



ヒシの実

## 平成26年度やちっこクラブ活動報告

平成21年度から、町内の子供たちを対象とした会員制の自然体験クラブとしてスタートした「やちっこクラブ」。今年度は24人のキッズレンジャーが、保護者15人、サポーター9人、協力員3人の協力の元に、月に1回のペースで、厚岸の自然について楽しみながら学習してきました。今年度も、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所の協力を得て、厚岸の環境とは切っても切れない「海」の体験学習プログラムも盛り込み、より充実した活動になりました。今年度の活動内容は以下の通りです。

- 5月 ● やちっこクラブ開会式
- 7月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 10月 ● 厚岸臨海実験所の実習船「うみあいさ」に乗船し、アイニンカップにある世界有数のオオアマモ場の生物を採集、観察
- 10月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 12月 ● 渡り真っ最中のオオハクチョウ観察
- 1月 ● 厚岸湖の水鳥調査（悪天候中止）
- 2月 ● 全道一斉海ワシ類調査

平成27年度も、子供たちが楽しめるプログラムを企画中です。募集要項は小・中学校を通じて別途案内しますので、ご興味のある方は水鳥観察館までお問い合わせ下さい。



オオアマモの藻場にいたクリガニ



別寒辺牛川で川下り

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

あつけし みずどり かんさつ かん  
**厚岸水鳥観察館**

☎088-1140  
北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地  
TEL&FAX (0153) 52-5988  
E-mail: [bekan@tiara.ocn.ne.jp](mailto:bekan@tiara.ocn.ne.jp)  
URL: <http://www.akkeshi-bekanbeushi.com/>